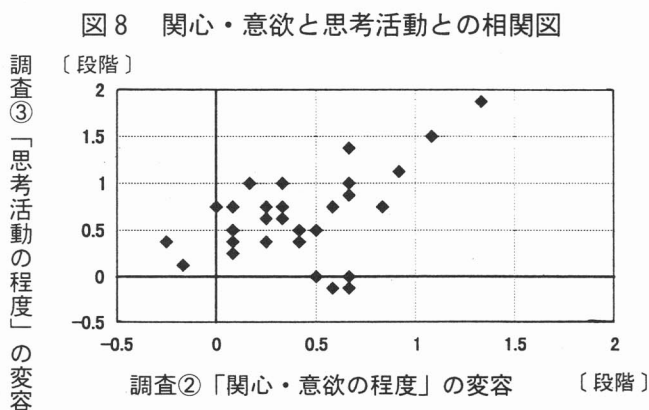


### 3 結果と考察

#### (1) 関心、意欲と思考活動との関係

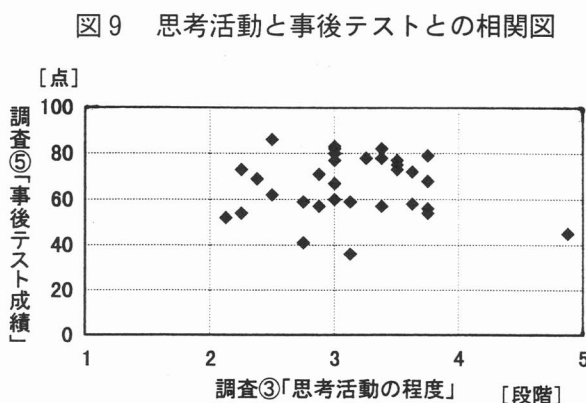
図8は、思考活動を活発にする具体的方策を実践する前後での「関心・意欲の程度」(調査②)の変容と、「思考活動の程度」(調査③)の変容の関係を表したものである。



ほとんどの生徒は、関心・意欲が高まり、思考活動が活発になっている。このことから、実践した方策が有効であったことがわかる。また、「関心・意欲の程度」の変容と、「思考活動の程度」の変容の間には、かなりの相関(相関係数 0.50)がみられた。このことから、情意面を活性化することが、思考活動の活発化に結びついたと考えられる。

#### (2) 思考活動と事後テスト成績との関係

図9は、事後の「思考活動の程度」と、事後テスト(調査⑤)成績との関係を表したものである。



事後の「思考活動の程度」と事後テスト成績との間には、特に相関は見られなかった(相関係数-0.06)。これは、思考活動の程度の自己評価の結果に

かかわらず、テストの平均点が66.3点と高く、全体的に成績がよかったためである。

また、思考活動の程度の自己評価は高いが、テスト成績が低い生徒や、思考活動の程度の自己評価が低い生徒については、個別に、それぞれに応じた方策を考える必要がある。

#### (3) 思考活動を活発にする方策に対する生徒の評価

思考活動を活発にする具体的方策について、生徒がどのような感想をもっているかを、次に示す調査用紙(調査④)を使って調べた。

#### 調査④ 「思考活動を活発にする具体的方策に対する生徒の自己評価」

次の項目について、それぞれあてはまる番号を1つ○で囲んでください。また、「化石からたどる地球の歴史」の授業についての感想を書いてください。

- 5 : 大変よくあてはまる    4 : よくあてはまる  
3 : 少しあてはまる        2 : あまりあてはまらない  
1 : まったくあてはまらない

- 1 化石のレプリカ製作を行ったことで
  - ① 地球の歴史や生命の進化について、興味を持つようになった。
  - ② 以前より、意欲的に授業に参加するようになった。
  - ③ 地球の歴史を考える上で、参考になった。
- 2 化石のでき方のモデル製作を行ったことで
  - ① 地球の歴史や生命の進化について、興味を持つようになった。
  - ② 以前より、意欲的に授業に参加するようになった。
  - ③ 地球の歴史を考える上で、参考になった。
- 3 古生代(中生代・新生代)ワールドづくりを行って
  - ① 地球の歴史や生命の進化について、興味を持つようになった。
  - ② 以前より、意欲的に授業に参加するようになった。
  - ③ 地球の歴史を考える上で、参考になった。
- 4 授業の進め方について
  - ① 作業活動の際の2人の先生による指導は、学習内容を理解したり考えたりする上で役に立った。
  - ② 個人やグループごとの学習は、学習内容を理解したり考えたりする上で役に立った。
  - ③ 授業中に、考える時間を十分にとることは、学習内容を理解したり考えたりする上で役に立った。
- 5 「化石からたどる地球の歴史」の授業について、感想を書いてください。